

農山漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援

(24) 「JAグループ福岡担い手総合サポートセンター」の取組み

福岡県信連(福岡県)

新規	継続
	○
	(2016年4月)

1 動機(経緯)	<p>JAと連携し、農業者・農業法人等に出向き、ニーズを把握して、経営サポートを強化していくために、2016年4月1日にJA福岡中央会・JA福岡県信連・JA全農ふくれんの共通機構として、「JAグループ福岡担い手総合サポートセンター」を設置しました。</p>
2 概要	<p>本センターでは、TAC機能を含めたJAの出向く業務の支援、JAのTAC等との同行訪問の実施、農業経営管理支援や集落営農組織の法人化支援等に取り組んでいます。</p> <p>※「TAC」とは、Team for Agricultural Coordinationの略で、「地域農業の担い手に出向くJA担当者」の愛称です。これはJA・連合会が一体となって地域農業をコーディネートするという意味を持ちます。</p>
3 成果(効果)	<p>JAの出向く業務の支援の取組みでは、より深くかかわるため、今年度よりテーマを絞った担い手同行訪問活動を行いました。担い手経営体に対しては、個別支援や事業提案の実現に向けた取組みを実施しました。また、TACのスキルアップ等を目的とした研修会を実施し、体制の強化を図りました。</p> <p>農業経営管理支援の取組みでは、JAの主催する経営管理支援幹事会や青色申告会学習会等へ参画、ソリマチ（WEB記帳業務支援システム）を活用し、農業経営の見える化に取り組むJAや個別コンサル対象農家を指導するJA等への支援を行いました。</p> <p>集落営農組織の法人化支援の取組みでは、集落営農・法人リーダー研修会等を開催し、集落営農の組織化・法人化にかかる先進事例や法人化会計支援に関するツールの紹介・情報提供等を行いました。</p> <p>「JAによる農業経営」を通じた担い手と地域農業への支援強化の取組みとしては、新規取組JAへの個別支援や、既取組JAの農業経営をモニタリングしJAと一体となった取組支援の実践を行いました。</p>
4 今後の予定	<p>JA福岡中央会・JA福岡県信連・JA全農ふくれんの共通機構であった「JAグループ福岡担い手総合サポートセンター」の見直しを行い、2019年4月1日よりJA福岡中央会の機構内に「JAグループ福岡担い手・営農サポートセンター」を新設しました。</p> <p>引き続き、担い手の多様なニーズに対し、JAグループ福岡が一体となって、総合的に対応し、JAグループ自己改革に掲げる「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」に向けた支援を行います。</p>

【担い手同行訪問の様子】



【集落営農法人リーダー研修会の様子】



【青色申告学習会の様子】

